

8月は道路ふれあい月間



8月は道路ふれあい月間です

道路ふれあい月間 推進標語

「続け未来に 地域の道路は たからもの」

8月は「道路ふれあい月間」、8月10日は「道の日」です。この機会に、私たちの暮らしを支える道路の役割や大切さについて、改めて考えてみませんか。

市では、道路を安全で快適に利用できるように、道路パトロールを実施し、維持管理に努めています。

穴ぼこなど、道路損傷を見つけた場合はお知らせください。スマホを利用して、市公式LINEからの通報が可能です。また、自分の敷地から道路に木の枝や葉等が伸びて通行の支障にならないよう、敷地の周囲を点検しましょう。

問 道路管理課

☎055・934・4788



沼津市公式LINE

未来へ、つなぐために。

普段何気なく利用している道路は、目的地へ向かうための通り道であるだけでなく、ヒトや地域をつなぎ、安心して暮らせるまちを支える大切な社会基盤です。未来へつないでいくためには、安全を守る「維持管理」と、新たな価値を生み出す「整備」や「活用」が欠かせません。身近な道路を例に、道路の魅力に目を向けてみましょう。

道路を、守る。

側溝や舗装の修繕をはじめ、道路では安全に利用できる状態を保つため、さまざまな「維持管理」を行っています。

市道02016号線（通称：のぼり道通り）のぼり道通りでは舗装工事が行われ、全長701mの道路が生まれ変わりました。担当者は「舗装の表面を新しくするだけでなく、特に傷みが進んでいる箇所には地盤を強化する材料を使用し、アスファルトの下にある路盤の補強も行いました」と話します。

舗装の傷みを放置すると、車両の走行性の低下や安全面へ影響を及ぼす恐れがあります。道路の状態に応じた適切な維持管理の積み重ねが、安全で快適な道路環境を未来へつないでいきます。

問 道路管理課

☎055・934・4790



道路を、つくる。

渋滞の緩和や災害時の避難路・緊急輸送路の確保などを目的に、新たな道路の「整備」を進めています。

新車両基地の地下を通る南北道路

国道や県道を南北につなぐ重要な道路の一つとして「片浜西沢田線」の整備を進めています。

新たにこの路線が整備されることで、南北交通の確保や渋滞緩和に加え、歩行者や自転車も安全に通行できる道路となります。担当者は「周辺地域の発展を支えるまちづくりの軸としての役割も期待しています」と話します。

問 整備課

☎055・934・4773



国道と市街地中心部を結ぶ主要道路(岡宮)



この道路の整備により、東名、新東名の玄関口として、中心市街地へのアクセス性を高めるとともに、移動時間の短縮や既存道路の渋滞緩和を図り、快適で住みよいまちづくりにつなげることが期待できます。

問 岡宮北区画整理事務所

☎055・924・9354



道路を、使う。

近年、道路を人々が滞在し交流できる空間として「活用」するニーズが高まっています。道路は、通るだけではなく、過ごす場所へと変わりつつあります。

南口駅前道路

道路空間を再編することで、ヒトがより快適に通行・滞在できる道路の使い方が可能となります。

沼津駅南口交差点では、歩道を拡幅し、横断歩道ができたことで、ベビーカーや車椅子の人もそのまま地上を通って道路を横断できるようになりました。

問 まちづくり政策課

☎055・934・4760



道路を、守る。

側溝や舗装の修繕をはじめ、道路では安全に利用できる状態を保つため、さまざまな「維持管理」を行っています。

市道02016号線（通称：のぼり道通り）のぼり道通りでは舗装工事が行われ、全長701mの道路が生まれ変わりました。担当者は「舗装の表面を新しくするだけでなく、特に傷みが進んでいる箇所には地盤を強化する材料を使用し、アスファルトの下にある路盤の補強も行いました」と話します。

舗装の傷みを放置すると、車両の走行性の低下や安全面へ影響を及ぼす恐れがあります。道路の状態に応じた適切な維持管理の積み重ねが、安全で快適な道路環境を未来へつないでいきます。

問 道路管理課

☎055・934・4790



イーラde南側道路

中心市街地のにぎわいづくりとして、歩行者利便増進道路（ほこみち）制度を活用した道路整備が進められています。ほこみち制度により、道路上へのベンチや購買施設（キッチンカー等）の設置が許可され、道路空間の新たな使い方が可能となります。この制度を活用し、イーラde南側道路を、人々が集い、にぎわいのある空間にリニューアルしました。

実際に訪れた人からは「広場のような雰囲気だ、ゆったり過ごせそう」との声が聞かれ、まさに新しい風景が生まれています。

問 まちづくり政策課

☎055・934・4760